

こんにちは!

学校図書館と地域をつなぐ「広中校区図書館だより」です。

学校図書館の「あんなこと、こんなこと」をお届けします。

今回は、広中校区学校図書館の各館長、校長先生のおすすめをご紹介します!

### 布部小 学校図書館

「昔読んでいた本を紹介してください」と頼まれて、真先に頭に浮かんだのは「モモ」という本です。時間どろぼうと、ぬすまれた時間を人間にとりかえしてくれた女の子モモの、ふしぎな物語です。

主人公のモモは、ただじっとすわって注意ぶかく相手の話を聞いているだけなのですが、話を聞いてもらって

いると、どうしてよいか思いまよっている人は、きゅうに自分の意志がはっきりしてきますし、ひっこみ思案の人には、きゅうに勇気が出てきます。不幸な人、なやみのある人には、希望と明るさがわいてきます。毎回、モモって素敵な子だなと思いながら読んでいます。買ったのが35年も前なので、紙が黄色くなるなど古ぼけてしまっていますが、今でも本棚から時々出して読んでいます。私にとって大切な一冊です。

最近読んだ本で紹介したい本は「ワンダー」という本です。

布部小学校の入江司書さんから紹介してもらいました。

私は映画「スターウォーズ」のファンなのですが、主人公の

10歳の男の子オーガストも、大のスターウォーズ好き。

なんだか親しみがわいて読みました。オーガストとクラス

メイトや家族との交流に心が温かくなるお話です。

「ワンダー君は太陽」という映画にもなっています。映画を

観て楽しむこともオススメです。



なんばまさあき  
難波真章  
こうちょうせんせい  
校長先生

### 広瀬小 学校図書館

小学生の頃は、「トム・ソーヤ」「ハックルベリー」  
「海底2万里」「パール街の少年たち」など、冒険物  
をよく読んでいました。中学生頃からは気に入った作家の  
本を続けて読むことが多かったです。夏目漱石で感想文を  
書いたりもしました。

若い頃は、「太宰と三島は読むな」という大人もいました  
が、太宰治、三島由紀夫の作品も読んでいました。今もた  
まに読みます。村上春樹、村上龍はデビュー作品から読ん  
でいました。詩集も好きで、中原中也、高村光太郎、  
宮沢賢治など詩を読みました。

小学生の皆さんにおすすめしたいのは、宮沢賢治  
『銀河鉄道』の『夜』です。思春期から青年期の自分の  
内面を見つめ、人との関係を考え始める時期の皆さんに

おすすめしたいのは、太宰治の『人間失格』です。  
夏目漱石の『こころ』もいいですね。



えどりのりふみ  
江戸宣文  
こうちょうせんせい  
校長先生



### 広瀬中 学校図書館

昨年、学校で『David Goes To School』  
(デイビッドがっこうへいく)という本の読み聞か  
せを英語でしました。主人公のDavidはすごくや  
んちゃで先生に叱られてばかり。何もいいところ  
がないようで、でも教室の掃除はピカピカにで  
きる子です。「自分ってなにもいいところないな」と自分

に自信をなくしてしまいそうな人、読んでみたら元気が出ると  
思いますよ。中学生はできたら英語で読みましょう。簡単な  
英語で書かれているので大丈夫です。分からない単語があっても  
絵が助けてくれます。小学生は日本語に訳されて出ているので、  
そちらをぜひどうぞ。因みにDavidシリーズは他にもいくつか出  
ています。



まつもとひろかずこうちょうせんせい  
松本洋和校長先生

【Davidシリーズ】  
デイビッド・シャノン/作  
評論社/出版  
『だめよ、デイビッド』  
『デイビッドがやっちゃ  
った!』  
『クリスマスだよ、  
デイビッド!』

ラストページまで  
駆け抜けて  
2020・第74回 読書週間  
10/27 ~ 11/9

### 比田小 学校図書館

私は、どちらかという好んで本を読む子どもではありませんでした。  
が、遠い昔のことを思い出してみますと、幼い時にはイソップやグリム  
童話などの絵本などを読み、小学生の頃には野口英世やヘレンケラーなど  
の伝記や「アンネの日記」を読んで涙を流した記憶があります。  
そして、大人になって出会ったサン・テグジュペリの「星の王子さま」  
は、子どもらしさについて語りかけてくれ、かんじんなことは目には見え  
ないというフレーズがお気に入りの大好きな本です。

少し前、「みかづき」を知人に勧められたのがきっかけで、「カラフル」「リズム」  
「ゴールドフィッシュ」など、森絵都の本をよく読んでいました。

最近読んだ重松清の「希望の地図」「ひこばえ」は、テーマは  
重いですが、前向きな気持ちになることができた本です。

また、比田小学校の学年別おすすめ本にもチャレンジしていて、  
現在5.6年生の24冊を読み終え、すべてのおすすめ本を  
今年度中に読みたいと思います。その中で、「マチルダは  
小さな大天才」のロアルド・ダールの本はおもしろくて、  
シリーズで読みたいなと思っています。児童書に慣れて、思  
わず笑ったり、新鮮な気持ちになったり、教えられたりする  
など、あらためてその奥深さを感じているところです。



いづつやすよ  
井筒泰世  
こうちょうせんせい  
校長先生

### 山佐小 学校図書館

小学生の頃、どんな本を読んでいたかなあとあれこれ思  
いを巡らせているうちに思い出してきました。家の本棚に  
は誰かからお下がりでもらった「少年少女文学全集」が  
並んでいて、名作と言われるものはその本で読んでいまし  
た。「小公女」「小公子」「秘密の花園」「若草物語」  
「ガリバー旅行記」...。学校図書館も好きで、色々借り  
て読みました。「エルマーのぼうけん」「名探偵カッ  
くん」「ドリトル先生アフリカゆき」「十五少年  
漂流記」、冒険ものが多いのは兄の影響かもしれません。  
本を読みながら、自分も物語の中にいる空想を楽しんでい  
たように思います。



はまさきじゅんこ  
浜崎順子  
こうちょうせんせい  
校長先生

中学生になる頃に「赤毛のアン」に出会い、  
夢中になりました。物語の舞台のモデルとなっ  
た、カナダのプリンスエドワード島に行ってみた  
いとずっとあこがれています(未だに達成できて  
いません)。そういえば主人公アンの職業は  
“先生”です!

裏面へどうぞ。  
本を詳しく紹介します。